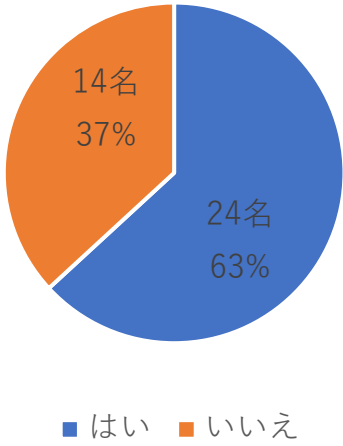


モデル授業アンケート結果

荒川区立尾久宮前小学校【保護者】

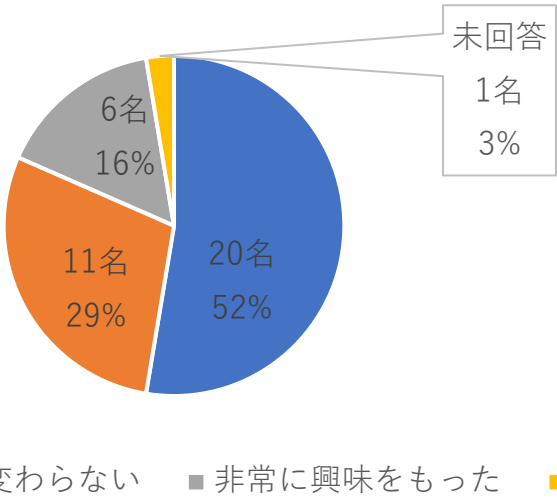
設問1:「わたしたちと和食」授業(以下、「モデル授業」)の話がご家庭で話題になりましたか。(択一)

図1 (単一回答 n=38)



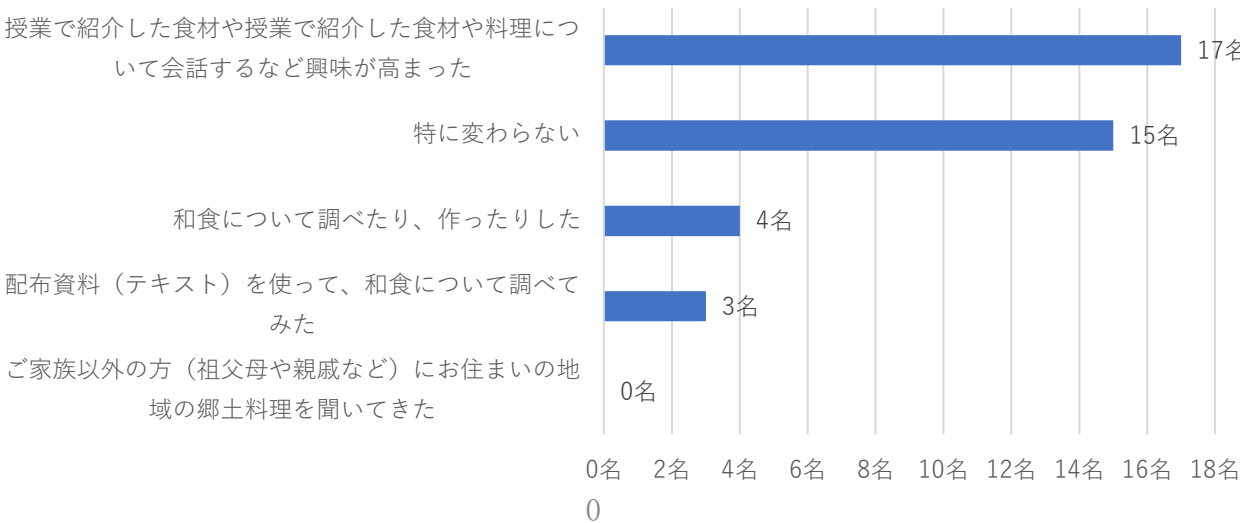
設問2:モデル授業を受けた後のお子さんの反応は、いかがでしたか。(択一)

図2 (単一回答 n=38)



設問3:モデル授業では、児童に和食の特徴などについて発表をしていただきました。お子さんはその後、学びを深める(調べる・料理を手伝う)などの行動はございましたか。(複数回答)

図3 (複数回答)

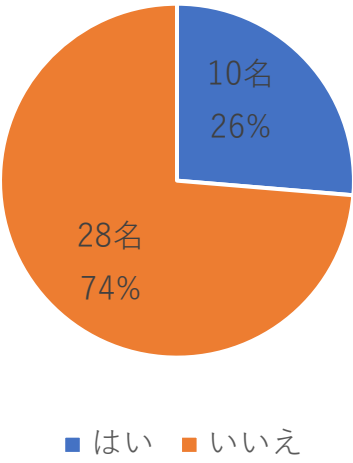


モデル授業アンケート結果

荒川区立尾久宮前小学校【保護者】

設問4:ご家庭において、お住まいの地域や保護者等のご出身地域の郷土料理を作られますか。(択一)

図4 (単一回答 n=38)



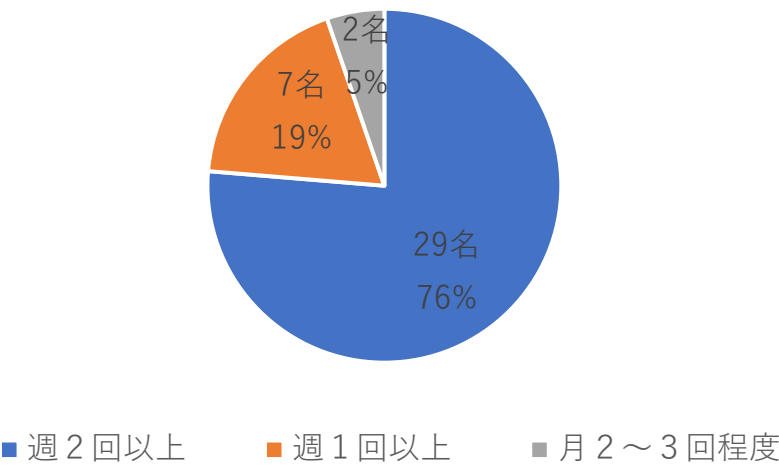
設問5:設問4で「はい」と答えた方に質問です。どのような料理を作られますか？(自由記載)

(自由記述)

芋煮、玉こんにゃく、だし、もんじゃ焼き、きりたんぽ鍋、がめ煮、もんじゃ焼き (2名)
冷汁、肉汁うどん、沖縄料理 (チャンプルーなど)、けの汁、がね、豚骨、ふくれ菓子、煮しめ

設問6:ご家庭において、和食が食卓に上がる頻度はどのくらいですか。

図6 (単一回答 n=38)

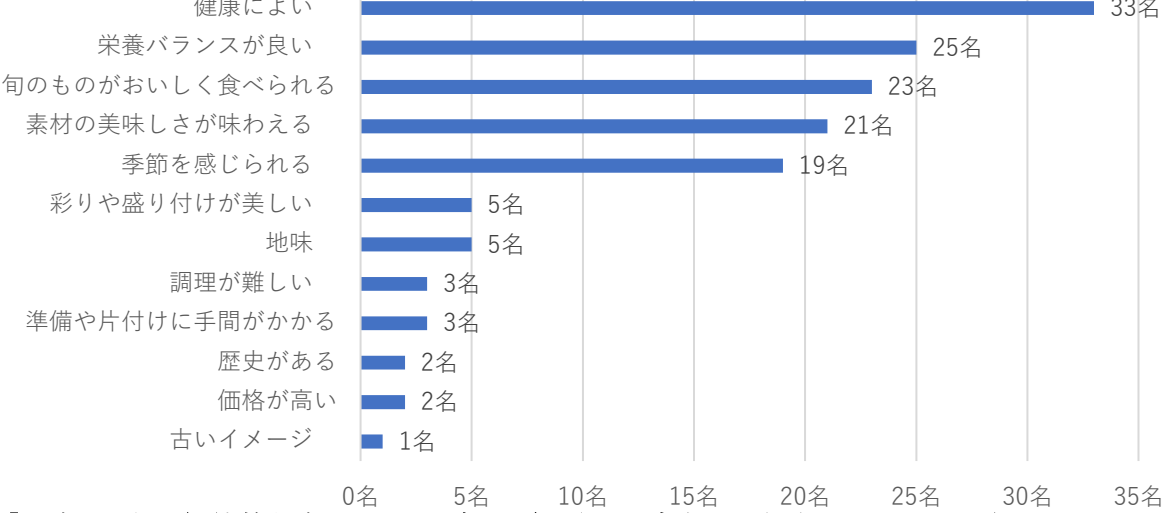


モデル授業アンケート結果

荒川区立尾久宮前小学校【保護者】

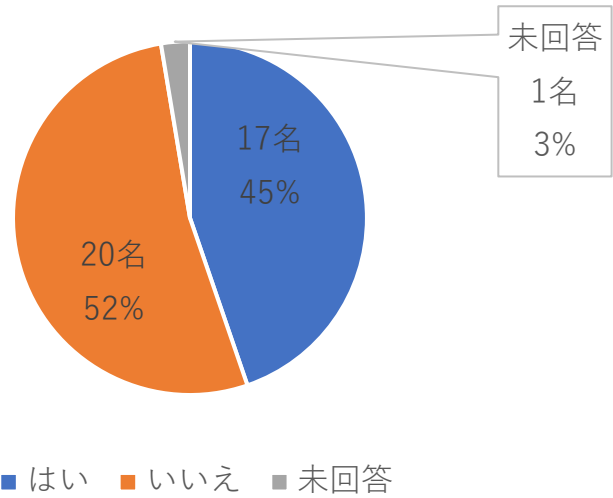
設問7:和食についてのイメージはどのようなものですか。(複数回答)

図7 (複数回答)



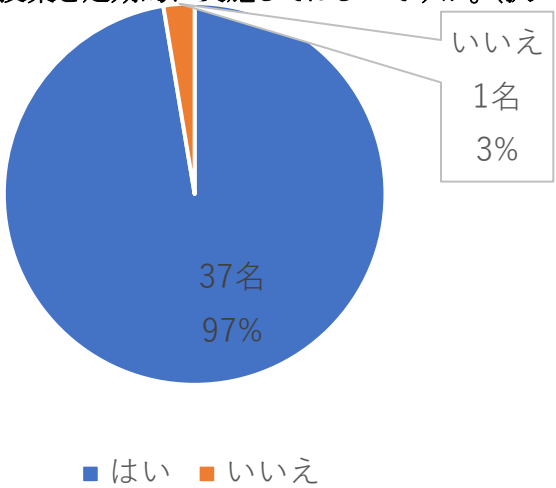
設問8:「和食;日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っていたり、聞いたことがありますか。(択一)

図8 (単一回答 n=38)



設問9:今後も学校において「和食」の授業を定期的の実施してほしいですか。(択一)

図9 (単一回答 n=38)

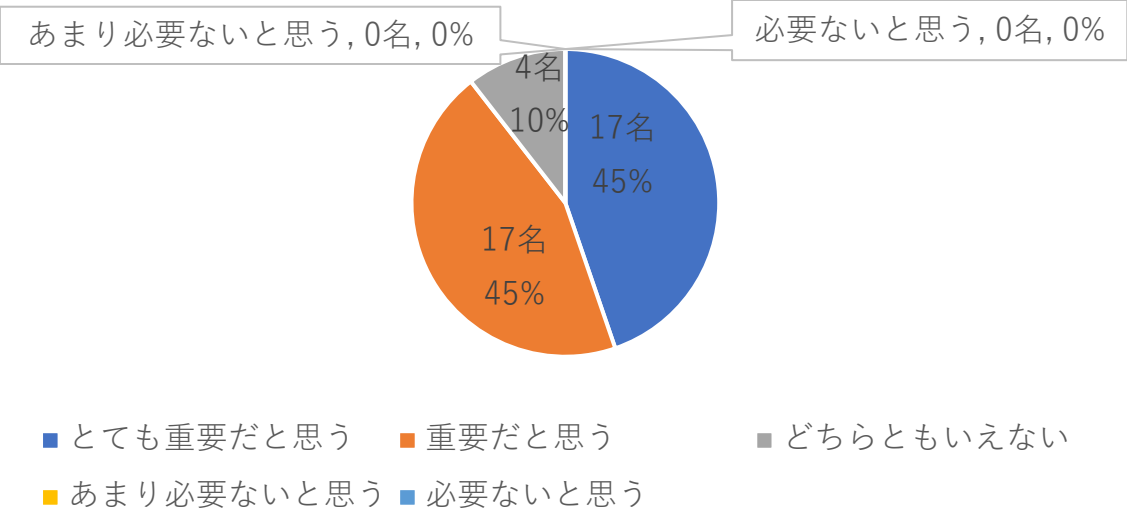


モデル授業アンケート結果

荒川区立尾久宮前小学校【保護者】

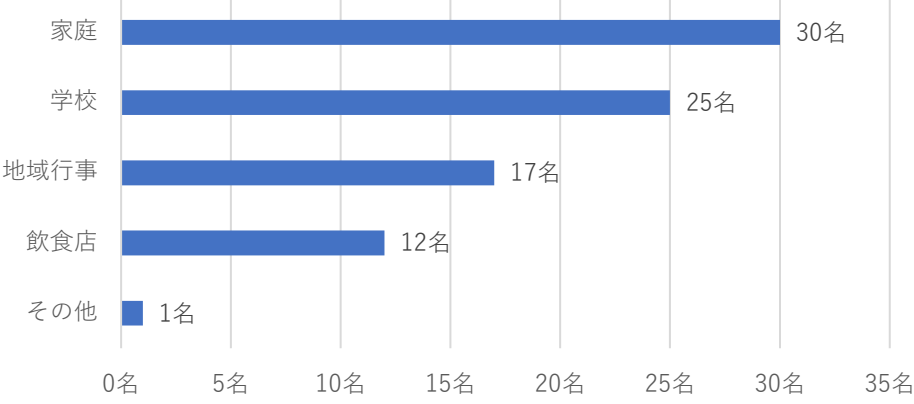
設問10:和食文化を次世代に継承することは重要なことだと思いますか(択一)

図10 (単一回答 n=38)



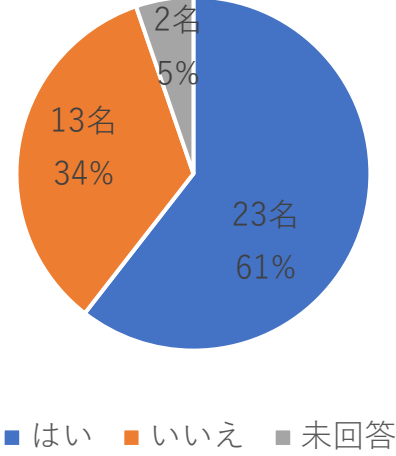
設問11:和食文化を保護継承する場として適切な場所はどこだと思いますか(複数回答)

図11 (複数回答)



設問12:親世代向けにも和食を学ぶ機会があれば受けたいと思いますか(択一)

図12 (単一回答 n=38)



モデル授業アンケート結果

荒川区立尾久宮前小学校【保護者】

設問13: 上記の設問で「はい」と答えた方にお伺いします。どのようなテーマが学べるとよいと思いますか(自由記述)

(自由回答)

- ・親子でつくれる和食、給食に出る和食づくり
- ・和食の作法
- ・若い世代になじみのない伝統料理
- ・自分がしなかった和食がめずらしい和食が学べるとよいと思います。和食の定義をしらないので、基本的な調理方法など和食の重要なこと。
- ・和食の歴史についてなど
- ・各地域で作られている一般的な和食
- ・簡単においしく作れる家庭での和食メニュー
- ・季節の料理・郷土料理
- ・時短調理法、旬のものを春夏秋冬で家庭料理にとり入れやすい物
- ・日本の伝統的な和食料理を作る工程を知りたい
- ・普段の食生活の中で、どのように入れていくと子どもにも伝わるか？などのテーマだといよいと思います。
- ・和食とそれに関わる文化・歴史
- ・現代の食生活
- ・和食がもたらす健康面での効果を学びたい
- ・伝統的な和食の作り方
- ・和食料理の作り方
- ・子どもが好きな和食をテーマにして、和食にもっと興味をもつようにしたいです。

設問14: 和食、和食文化を継承していくには何が必要だと思いますか。(自由記載)

(自由回答)

- ・つくりつづけていくこと
- ・和食への興味を子どもたちに持ってもらうこと
- ・おいしいと感じてもらう工夫
- ・いろんな学校に和食のことをおしえたりするのがいいと思います。継承していく人、人材、教育。知識を得る機会を作ること
- ・大人から子供に伝えていく事、自分の体は食べた物で作られているという事を教えてあげる事が大切なことと思います。
- ・折りに触れて、和食に関わる話題や食する機会を作っていくことではないかと思います。
- ・日々の食卓にならべること、その味を子供につたえていくこと。安心する味として記憶してもらうこと。
- ・和食を食べる習慣や文化的な背景を学ぶこと
- ・栄養バランス
- ・歴史を忘れないように
- ・みそ汁ならみそを作ってみるなどの原材料から作る。工程を体験するなど
- ・海外旅行や留学で様々な文化や人と関わる事で、ようやく日本文化や和食の良さやありがたみを感じ、もっと知りたい、継承することが大切、必要だと感じられると思う。一方的に和食のことだけを押し付けるように教えても響かないし伝わらないと思う。
- ・学校での取組みと親世代の知識を深める機会が重要だと考えます。
- ・食卓に出す。見る機会を増やす
- ・和食の良さや特徴を理解して、それを広めること
- ・母親の料理時間、和食への知識
- ・和食料理人による本物の味を親しむ